

 2151FZ モノロック用フィッティング	適応車種	商品NO.
	YAMAHA YZF-R3/25 ('20~'22) MT-03/25 ('20~'22)	32551

■ご使用前に必ずご確認ください■

※本書は GIVI オリジナル取扱説明書を補足するものです。

※本商品のご使用前に最終項に記載の URL（保証規定）より保証規定の内容を読み、ご理解のうえご使用ください。

※本商品の使用をもって、本書と保証規定の内容の全てを理解・承諾したものとみなします。本書内の注意事項を守らず使用したことによる事故や損害について、当社では一切の責任を負いません。

※本書は、いつでも取り出して読めるように大切に保管してください。また第三者に譲渡する場合は、必ず本書も併せてお渡しください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。	 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
---	-------------------------	---	---------------------	--	---------------------

⚠ 警告 要件を満たさず使用しますと、死亡または重傷に至る可能性や第三者の生命や財産を損なう可能性が想定される場合を示してあります。

 禁止	・本商品は車種専用用品です。記載されている適応車種以外の車両には使用しないでください。 ・本商品の指定最大積載重量（1 ケースに収容可能な内容物の MAX 総重量）3Kg です。ケースの指定を超える重量となる内容物をケースに収納することは絶対にお止めください。 ・本商品に曲げ・切削・溶接などの加工は行なわないでください。商品の破損だけではなく、車両側の破損や重大な事故につながる恐れがあります。 ・オフロードなどの悪路では走行しないでください。破損や脱落など予期せぬ不具合や事故の原因となります。 ・法定速度を必ず遵守してください。また 100km/h を超える状態での走行使用は、操舵性の変化や破損や脱落など不具合や事故・損害の原因となる恐れがあります。 ・本商品をつかんでメインスタンドを掛けたり車両の取回しをしないでください。破損や変形の原因になります。 ・組付け作業が終わるまでエンジンの始動、走行は行なわないでください。
 実施	・認証工場など、適切な設備と技能、専門知識のある整備士を有した店舗にて脱着作業を行ってください。作業が適切に行なわれないと、作業中やご使用中に車両や部品を損傷したり、不具合が発生する場合があります。 ・走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を必ず点検してください。異常があった場合は、商品の使用または車両の走行を中止し、認証工場や販売店へご相談してください。

⚠ 注意 要件を満たさず使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

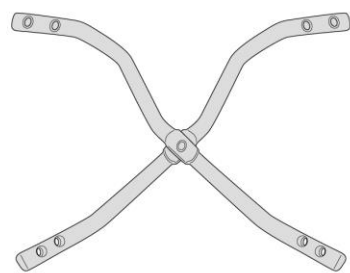
 実施	・本商品をパッケージから取り出した際に、商品構成や外観に不具合が無いことを必ずご確認ください。万一お気づきの点がございましたら、ご使用前にお買い求めの販売店に速やかにご相談ください。 ・作業中取り外した純正部品の破損・紛失には十分注意してください。また、各部ねじが緩みにくい場合は浸透潤滑油などを使用してください。 ・海外製品につき、組み合わせるねじ類の通りが渋い場合があります。適切な工具を使用して適宜修正してください。 ・商品付属ねじの規定トルクは M6：10N・m、M8：20N・m です。ねじ緩み止め剤の併用をオススメします。純正部品につきましては必ず車両メーカー発行のサービスマニュアルを参照し、各部規定トルクで確実に締め付けてください。 ・各部品は必ず一旦仮締めとし、車両への組付状態を十分確認し、位置決めしてから本締めしてください。車両の製造方法と製品個体差、車両組付個体差により、車両へのフィット感や組付クリアランスはお手元の商品程度となります。程度の差につきましてはあらかじめご了承ください。 ・取り付け後約 100km 走行しましたら必ず各部を点検整備し、必要に応じてボルト類の増し締めを行ってください。その後は約 500km 毎に定期点検整備を行ってください。 ・ケースを取り付けますと車両重量の増加と重心変化、空気抵抗などの理由によりハンドリングおよびブレーキ性能などが変化します。慣れるまでは十分注意して運転を行ってください。 ・エンジンやマフラーなどが十分に冷えている状態で、安定した平らな場所を選んでメインスタンドなどを使用し、作業中の車両の安定と周囲の安全を十分確保したうえで作業してください。 ・定期点検を怠ると重大な事故やトラブルの原因となります。必ず実施してください。また定期的な点検整備や日々のメンテナンスを怠り発生した不具合や事故損害につきましては、如何なる場合でも当社および GIVI 社では一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。
 その他	・本商品は記載された適応車種のノーマル車両（無事故車）にて取り付け確認を行っております。立ちゴケや転倒などでダメージを負った車両はもちろん、別途付加された純正アクセサリ類や他社製品、加工部品などとの組み合わせは未確認となります。 ・本商品を装着したことによる物的損害や人的損害などの保証は、一切お受けできません。また商品保証は、本商品のみ対象となります。 ・パッケージ開梱時や商品取り付け・取り扱い時に、端面や突起部、バリなどで予期せぬ怪我や事故が発生する場合があります。開梱時や取り付け作業時は十分ご注意ください。 ・本商品は指定部品のため、通常の継続車検を適用できます。構造変更届けは不要です。 ・本商品を取り付けた場合に車両側の取り付け面や、その周辺にキズが付く可能性があります。 ・本商品および指定同時装着品の構成部品は金属や樹脂を素材としております。経年変化や使用損耗によりサビなどの素材劣化が進行し、予期せぬ不具合や事故が発生する場合があります。必ず定期的に点検整備を行ってください。雨水がたまりやすい箇所や金属溶接部周辺などは特に念入りに行ない、異常があれば使用を中止して新品に交換して下さい。 ・素材と製造方法、製品個体差により、仕上がり品質はお手元の商品程度となります。溶接や塗装、小傷、歪みなど、程度の差につきましてはあらかじめご了承ください。

本商品の特長

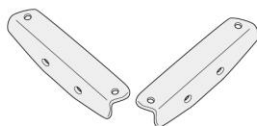
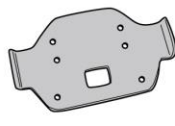
- ・ 適応車種専用設計の GIVI モノロック用フィッティング。
- ・ 指定ベースプレート（別売品）と組み合わせての取り付けになります。
モノロックケースに対応します。

商品内容

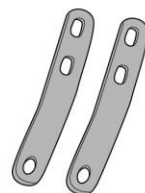
NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	フレーム（左右）	-	各 1	②	ベースブラケット（左右）	-	各 1
③	ブラケット A	-	1	④	ブラケット B（左右）	-	各 1
⑤	ボタンボルト	M6x50	4	⑥	ボタンボルト	M6x40	2
⑦	ボタンボルト	M8x40	4	⑧	フランジ付ボタンボルト	M8x30	10
⑨	ワッシャ	M6 t2	4	⑩	ワッシャ	M6 t1.5	4
⑪	スプリングワッシャ	M8	4	⑫	ワッシャ	M8 t0.3	4
⑬	ワッシャ	M8 t2	12	⑭	ゆるみ止めナット	M8	10
⑮	ゆるみ止めナット	M6	4	⑯	カラー	φ8.5	10
⑰	キャップ	-	4				



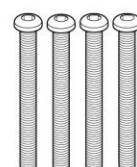
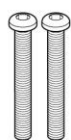
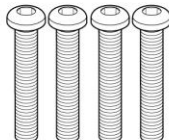
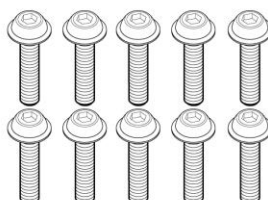
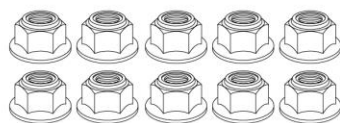
①フレーム

②ベース
ブラケット

③ブラケット A



④ブラケット B

⑤ボタンボルト
M6x50⑥ボタンボルト
M6x40⑦ボタンボルト
M8x40⑧フランジ付ボタンボルト
M8x30⑨ワッシャ
M6 t2⑩ワッシャ
M6 t1.5⑪スプリング
ワッシャ
M8⑫ワッシャ
M8 t0.3⑬ワッシャ
M8 t2⑭ゆるみ止めナット
M8⑮ゆるみ止めナット
M6⑯カラー
φ8.5

⑰キャップ

※商品内容の部品番号は GIVI 社の説明書のイラスト番号に準じています。

※フランジ付ボルト・フランジ付ナットがフランジのないものになっている場合があります。その際は、ワッシャが付属しておりますので、ワッシャを使用して取り付けください。

指定同時装着品（指定ベースプレート：別売品）

パーツ名	GIVI 部番
モノロックケース専用ベースプレート	M5M、M6M

※モノロックケース付属の汎用ベースは本品では使用しません。お手元で大切に保管してください。

※M5Mには30L未満のモノロックケースは非推奨。ケース底面幅よりもベースラバーストッパーの間隔が広い場合、ラバーの掛りが浅く、走行使用時の振動発生や振動負荷によるケースはめ合い部の破損などの原因となります。

※指定とは異なるベース（モノロックケース付属の汎用ベースなど）や GIVI 社以外のベースは本商品に使用しないでください。

取付方法

【作業前の注意事項】

※GIVI 社の取扱説明書を参照しながら部品の確認及び取付作業を行ってください。

※取り外した純正ボルトやナットは紛失しないよう大切に保管してください。

※作業を行なう前に、別売の指定同時装着品（指定ベースプレート）をあらかじめお手元にご用意ください。この部品がないと①FZ フィッティング（左右）を連結固定できません。

※記載の手順は YAMAHA MT-03（21）をもとに当社で検討した内容につき、純正部品の脱着方法などの詳細につきましては必ず車両メーカー発行のサービスマニュアルにてご確認ください。

※エンジンやマフラーなどが十分に冷えている状態で、安定した平らな場所を選んでメインスタンドなどを使用し、作業中の車体の安定と周囲の安全を十分確保したうえで作業してください。

※商品付属ねじの規定トルクは **M6：10N・m、M8：20N・m** です。ねじ緩み止め剤の併用をオススメします。純正部品につきましては必ず車両メーカー発行のサービスマニュアルを参照し、各部規定トルクで確実に締め付けてください。

※各部品は必ず一旦仮締めとし、車両への組付状態を十分確認し、位置決めしてから本締めしてください。

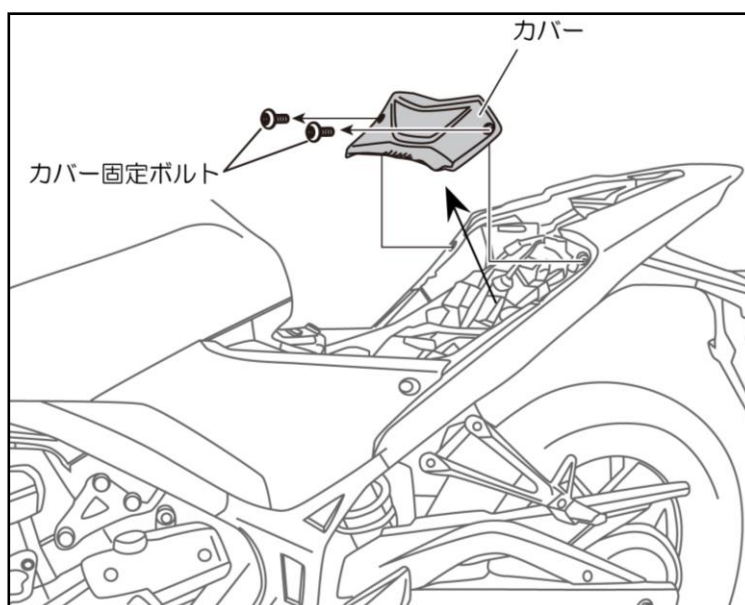
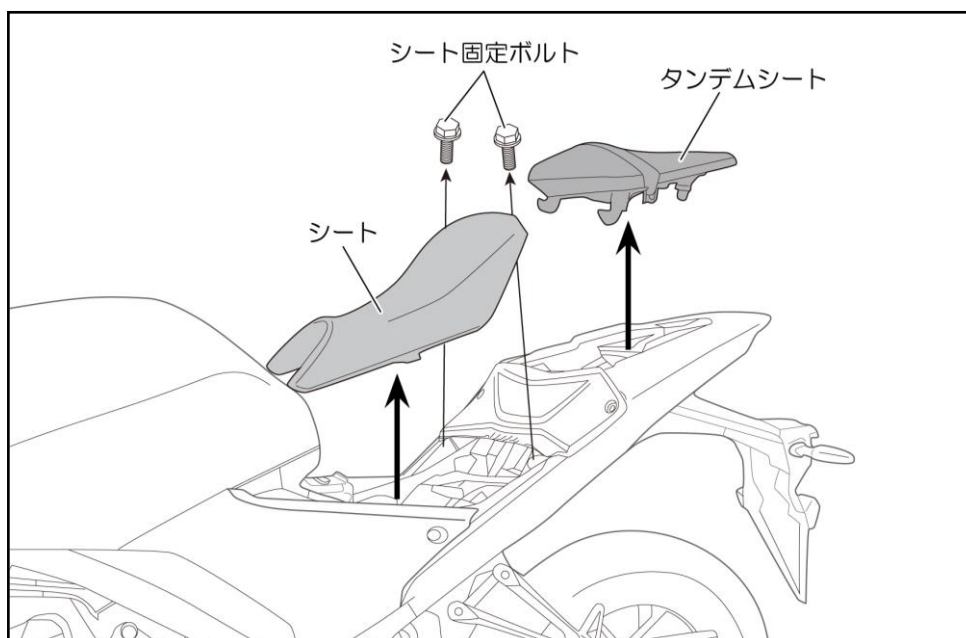
※ゆるみ止めナットは、樹脂を潰してねじ込みロックするナットです。

ゆるみ止めナットを締め付ける際、**締め付け途中から非常に固くなります。**（ボルトの先端が樹脂部に掛かり始める）

そこから適切な工具を使い**さらに締め付けてください。**締め付けが不十分だと、部品のガタ付きや破損、脱落の原因となります。

1.シートとタンデムシートを外します。

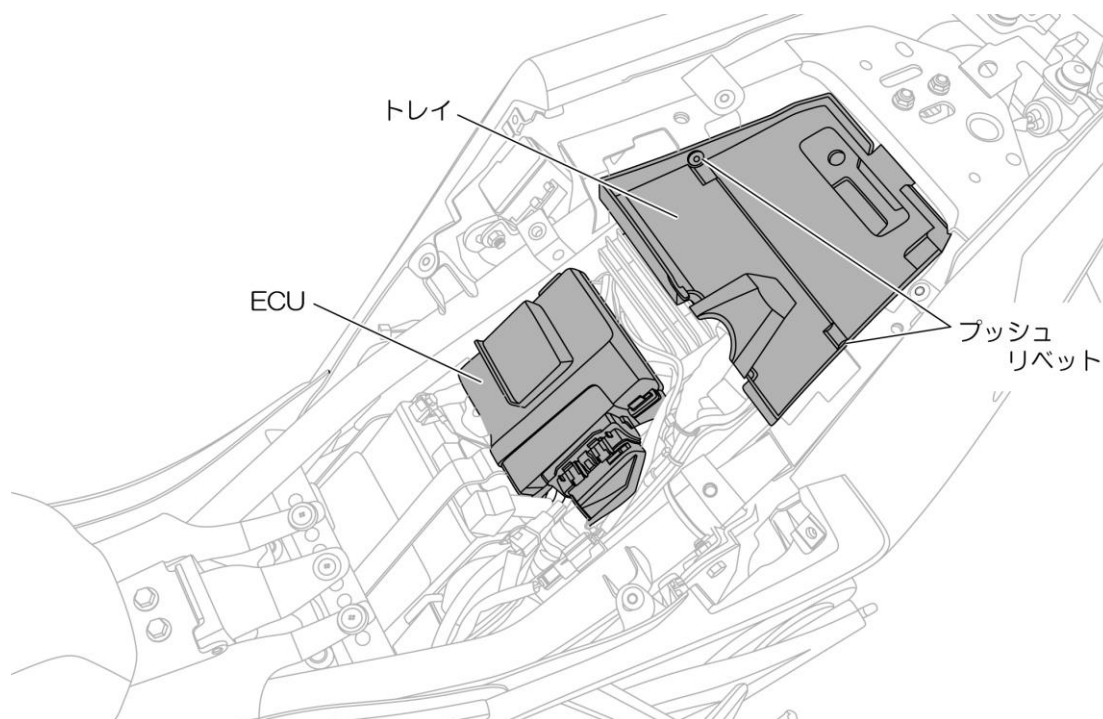
タンデムシートを外し、シート固定ボルト（2本）とカバー固定ボルト（2本）を緩めシートとカバーを外します。



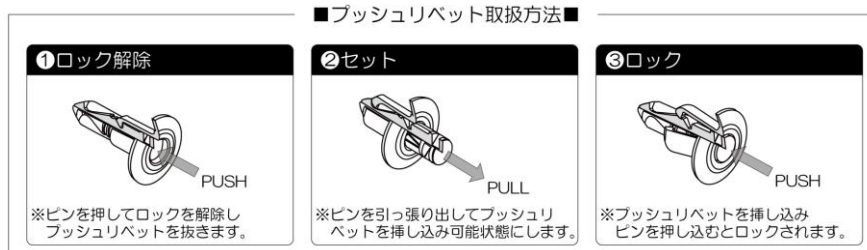
2. リアフェンダーの配線を外す。

トレイを外し、ECU を上に引きツメから外し邪魔にならない位置にずらしします。

リアフェンダーにつながっている配線をたどり、カブラー2ヶ所とギボシ端子1ヶ所を外します。

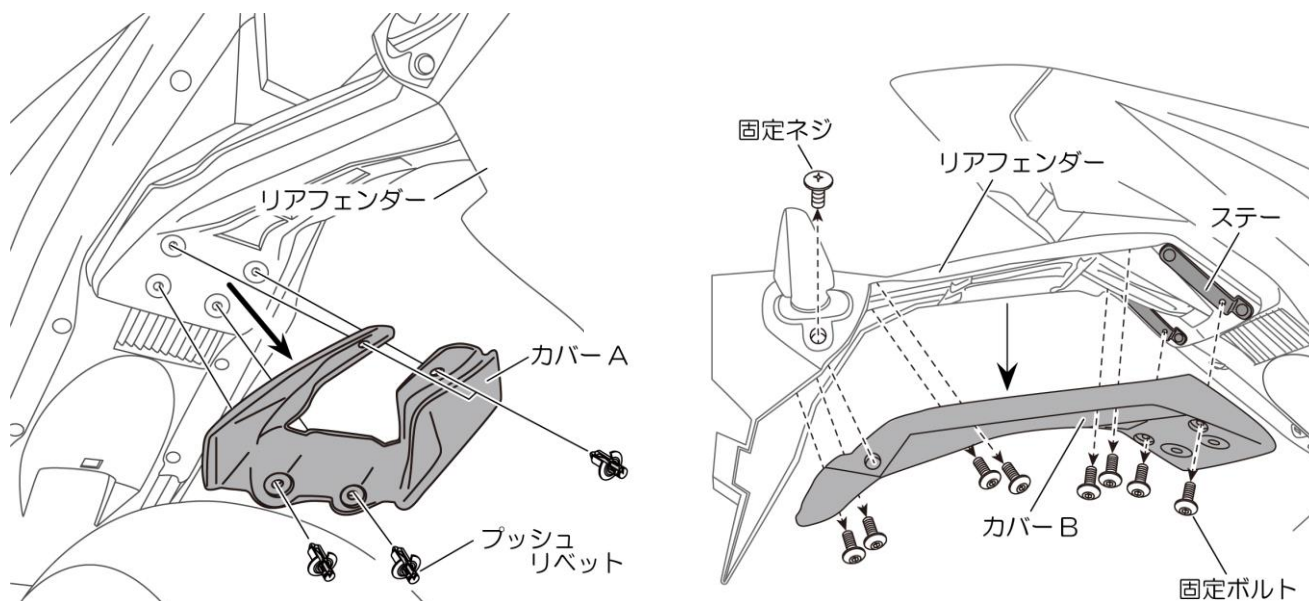


■ プッシュリベット取扱方法 ■



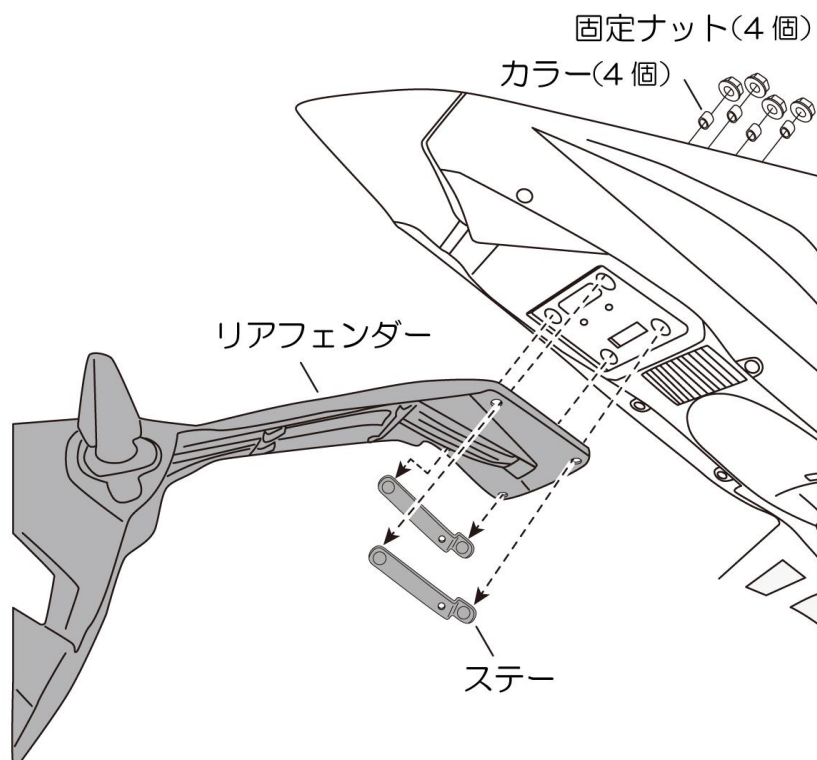
3. リアフェンダーのカバーAとBを外します。

リアフェンダーのカバーAを固定しているプッシュリベット（4個）を外してカバーAを外し、カバーBを固定している固定ボルト（8本）と左右ウインカー下部の固定ネジを外し、リアフェンダーのカバーBを外します。



4. リアフェンダーを外します。

リアフェンダーを固定している固定ナット（4 個）、ステー（2 個）を外し、リアフェンダーを外します。
 ※このステーはフィッティング取り付けに使用しません。紛失しないよう大切に保管して下さい。



5. リアフェンダーの取り付け部に穴をあけます。

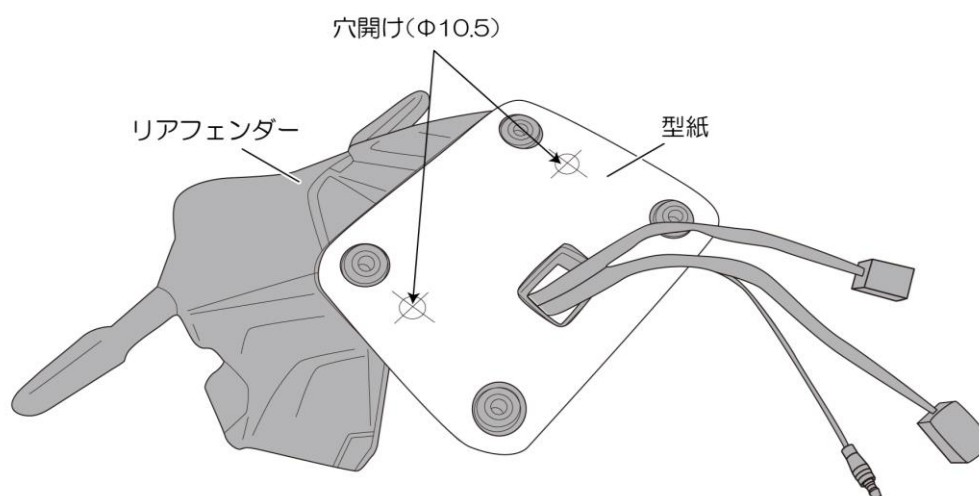
GIVI 社の取扱説明書に付属の型紙をはさみマークの線に沿ってカットします。

リアフェンダーの配線を穴あけの邪魔にならない位置にテープなどで仮止めします。

型紙をリアフェンダーに合わせてテープなどで固定し、穴あけ位置の十字を目安にドリルで 10.5mm の穴を開けます。

※穴位置が合わない場合は、棒ヤスリなどで穴の大きさを調整してください。

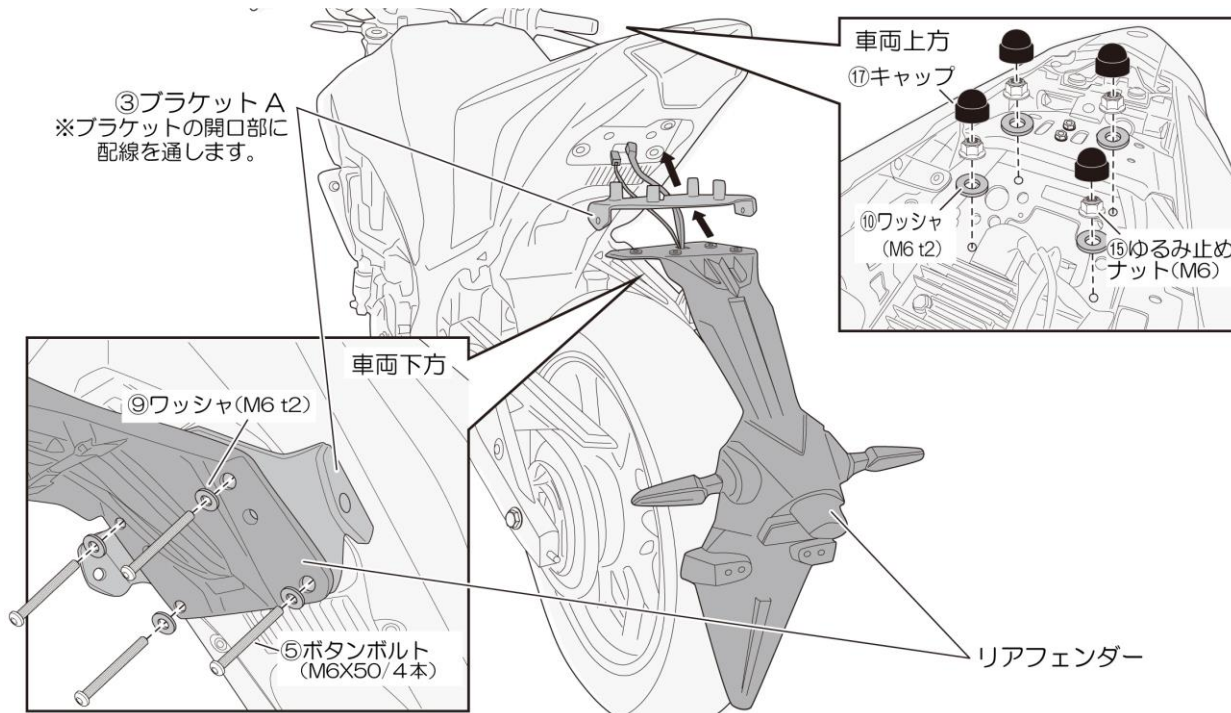
※台などにのせ、リアフェンダーを動かないように安定させて加工作業を行なってください。また、作業によるケガには十分注意してください。



6. ③ブラケット A を取り付けます。

イラストを参考にリアフェンダーと③ブラケット A を車両に仮組します。

※现阶段では、③ブラケット A が**わずかに動く程度の仮締め**としてください。先に本締めすると、以降の作業に支障をきたす原因となります。

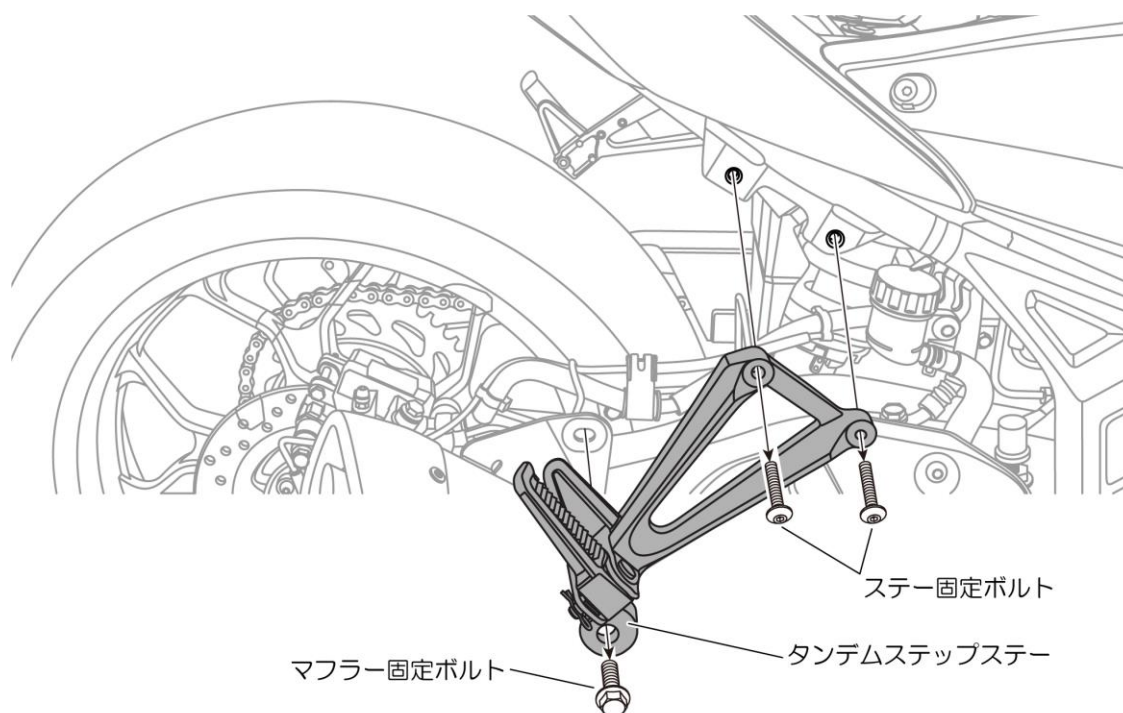


7. 配線を接続する。

手順 2 で外した配線のカプラーとギボシ端子を接続します。

8. タンデムステップステーを外します。

タンデムステップステーを固定しているステー固定ボルト (2 本) を緩め取り外します。右側はマフラー固定ボルトも取り外します。反対側も同様に外します。

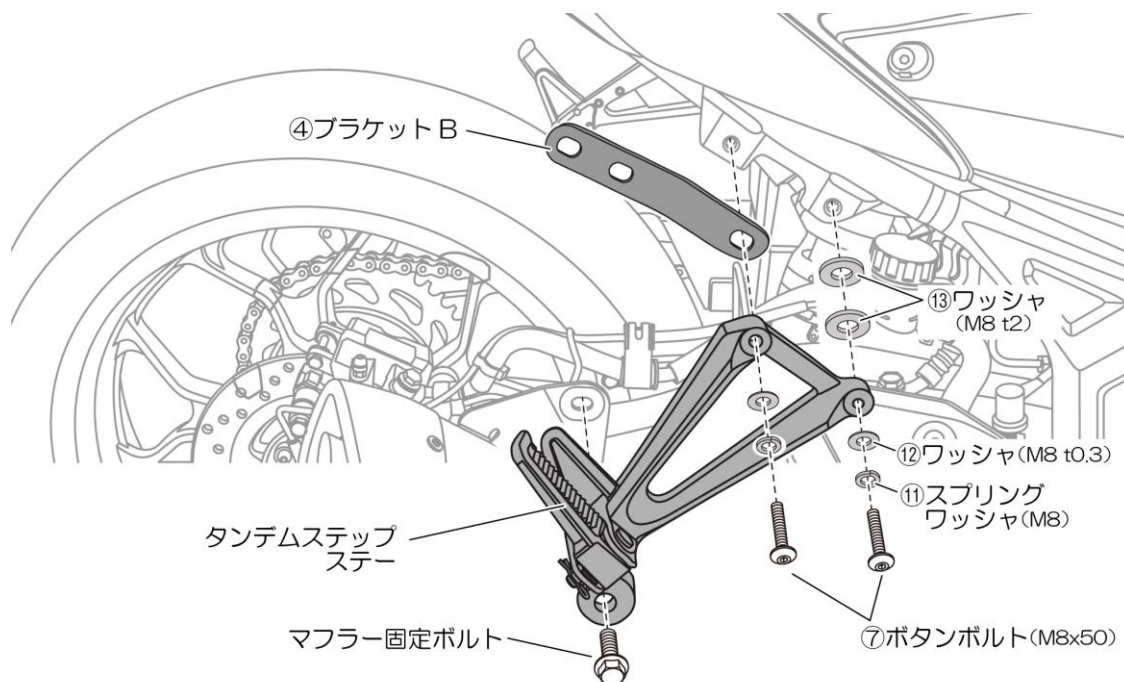


9. タンデムステップステーと④ブラケット B の取り付け

タンデムステップステーと④ブラケット B を仮組みします。反対側も同様に仮組みします。

※現段階では、④ブラケット B が**わずかに動く程度**の仮締めとしてください。先に本締めすると、以降の作業に支障をきたす原因となります。

※④ブラケット B は曲がっている方向を車両外側になるように仮組してください。

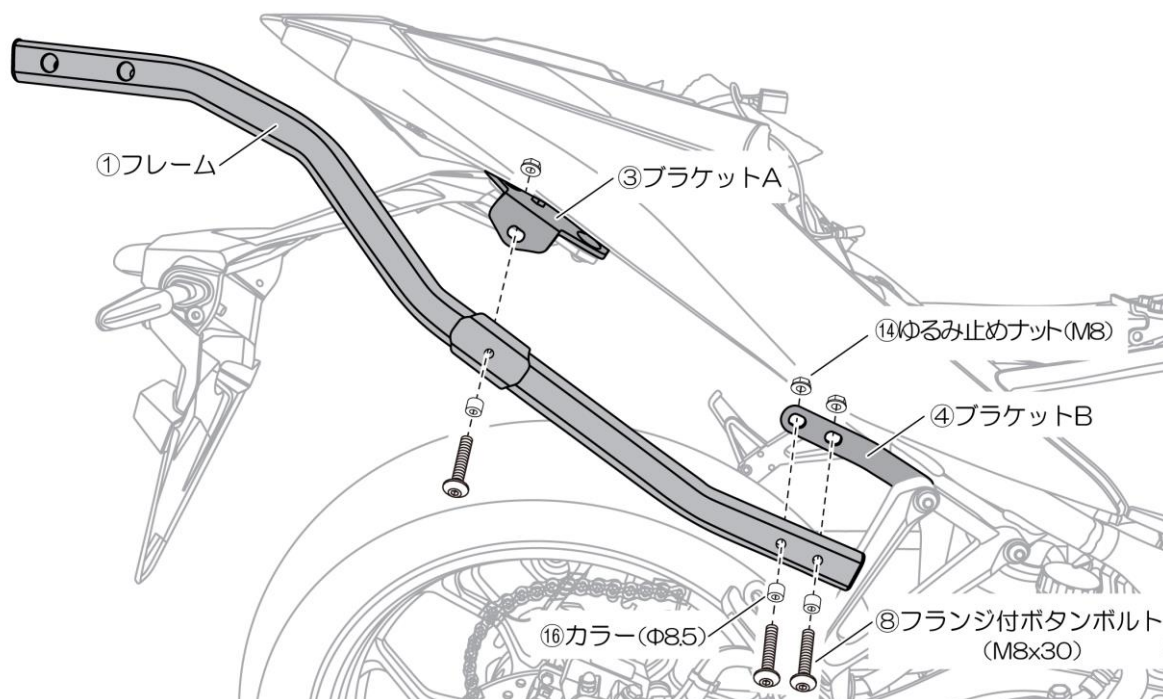


10. ①フレームの仮組み

①フレームを③ブラケット A と④ブラケット B へ⑧フランジ付ボタンボルト (3 本) と⑭ゆるみ止めナット (3 個) を使用して仮組みします。

反対側も同様に仮組みします。

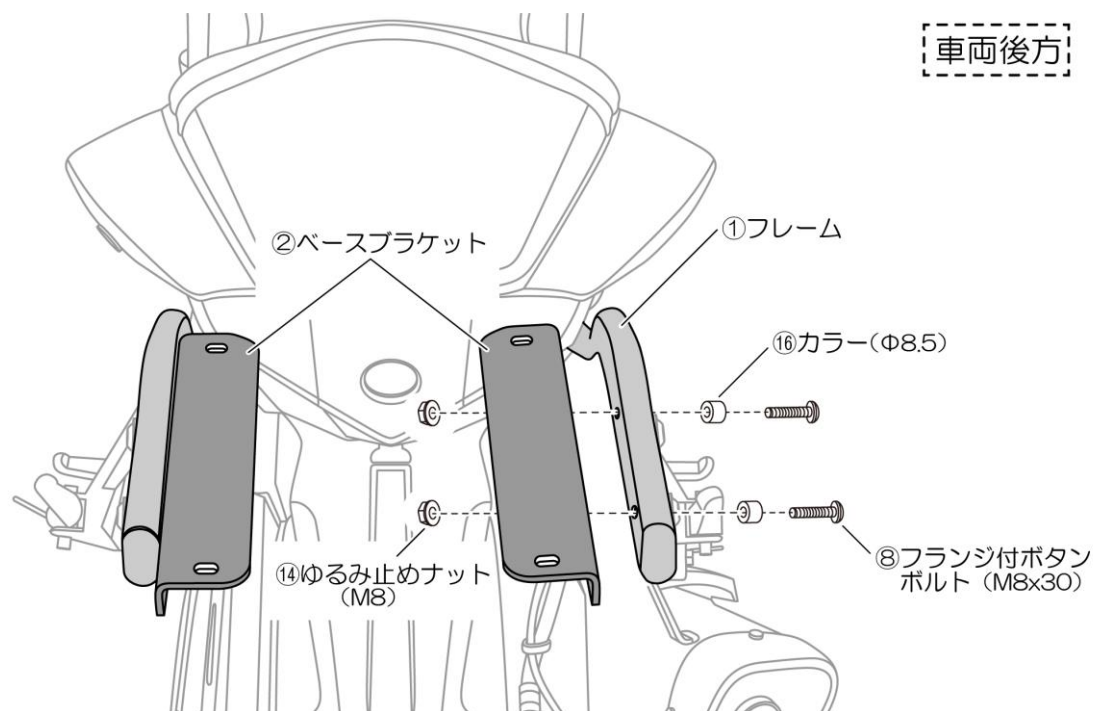
※現段階では、①フレームが**わずかに動く程度**の仮締めとしてください。先に本締めすると、以降の作業に支障をきたす原因となります。



11. ②ベースブラケットの取り付け

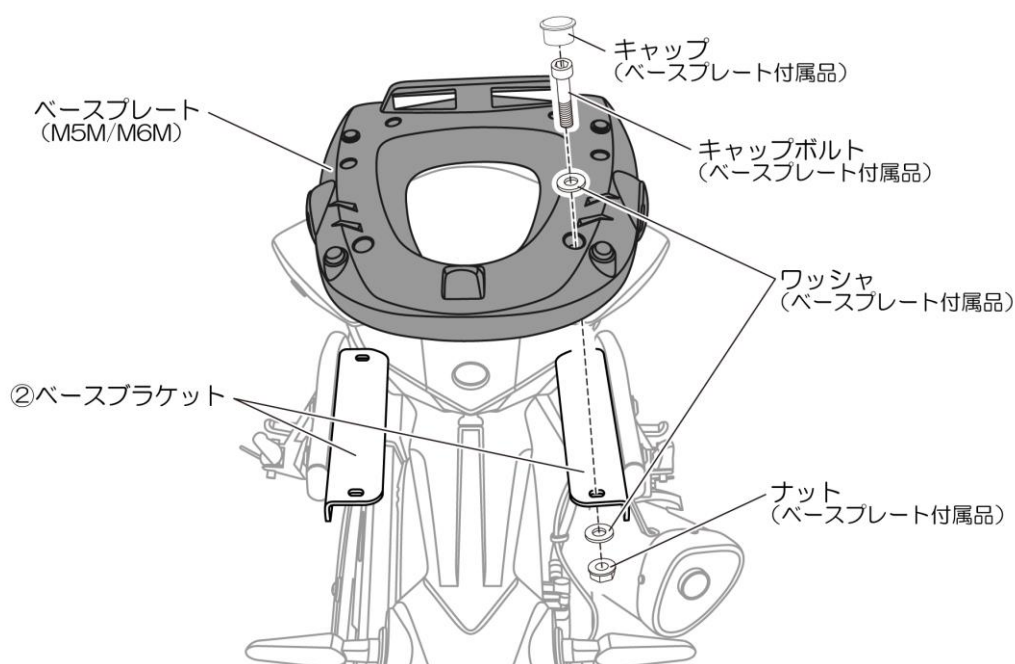
手順 10 で仮組みした①フレームに②ベースブラケットを仮組みします。

※現段階では、②ベースブラケットが**わずかに動く程度の仮締め**としてください。先に本締めすると、以降の作業に支障をきたす原因となります。



12. 指定のベースプレート (M5M/M6M) の取り付け

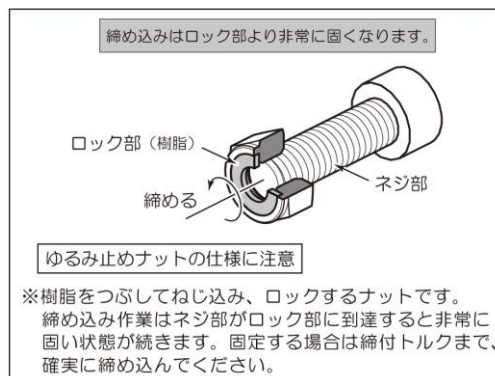
手順 11 で仮組みした②ベースブラケットに指定のベースプレートの位置を調整して取り付けます。



13. 車体を水平にした状態で手順6、手順9～12で仮組みした各部品の取り付け位置を調整し、問題なければ各部を均等に締め付け、最終的に規定トルク（M6：10N・m、M8：20N・m）で本締めします。

※ゆるみ止めナットは、**締め付け途中から固くなります。**（ボルトの先端が樹脂部に掛かり始める）

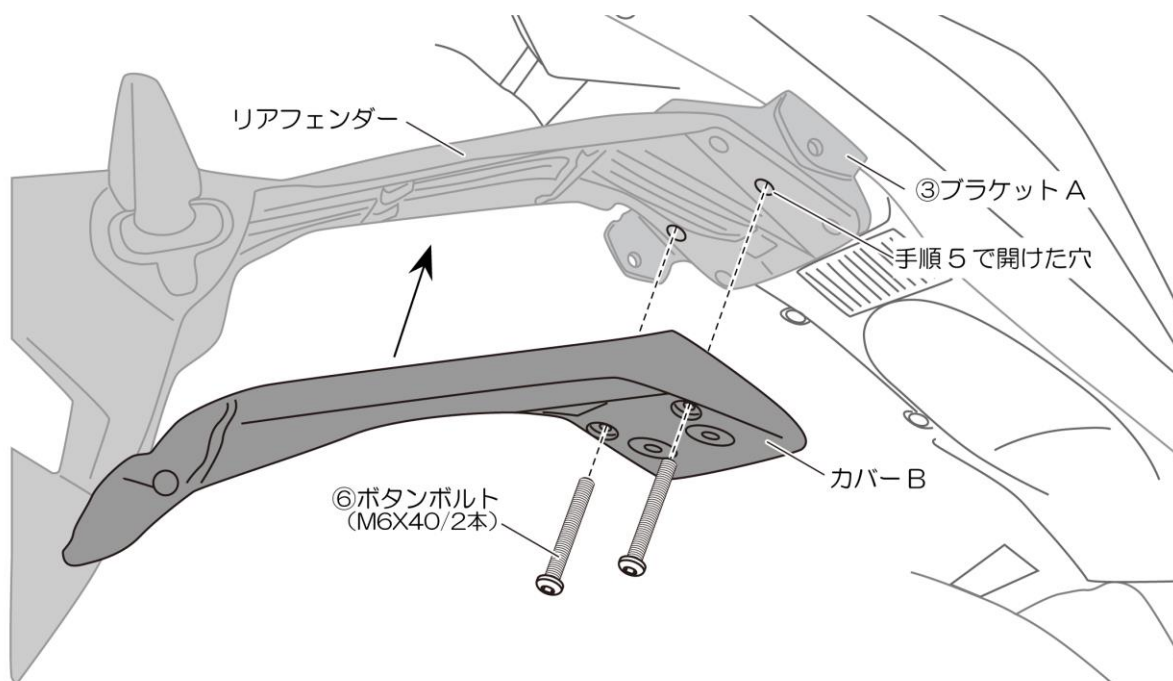
そこから適切な工具を使い**さらに締め付けてください。**締め付けが不十分だと、部品のガタ付きや破損、脱落の原因となります。



14. リアフェンダーのカバーB取り付けます。

手順5であけた穴を使いリアフェンダーのカバーBを取り付けます。

※カバーAは使用しません。大切に保管してください。



15. シートを戻し、各部を確認して異常がなければ作業は終了です。

■商品保証について

商品保証とは、通常のご使用において材料または製造上の不具合に起因する故障等が起きた場合、保証規定の範囲において無償修理または交換をお約束するものです。

1. 保証期間は使用回数に関わらず、ご購入日から1年間となります。
2. 保証を受ける場合には、お買い上げ日が証明できる書面（レシートなど）が必要となります。

※保証の対象は、新品かつ正規販売店でのご購入品に限ります。個人売買や中古品、インターネットオークションでの購入品は保証の対象外となります。

3. 下記のアドレス（またはQRコード）より、保証規定の詳細をご一読の上、ご理解・ご承諾ください。

デイトナ保証規定

<https://www.daytona.co.jp/warranty/index.php>

※保証を受けるご連絡を以て、保証規定にご同意いただいたものとみなします。



■保証修理の受付について

お買い上げ日が証明できる書面をご用意の上、購入店もしくは当社までご連絡ください。

インターネットお問合せ

<https://www.daytona.co.jp/contact/form.php>



株式会社 **デイトナ**
東証スタンダード上場

転載 本取扱説明書の内容の一部、
禁止 または全ての無断転載を禁止

〒437-0226 静岡県周知郡森町一宮4805 <https://www.daytona.co.jp>